



熊本支部報

(社) 日本山岳会熊本支部

No. 32 平成26年8月30日
 発行 (社) 日本山岳会熊本支部
 熊本市南区野口 2-13-7
 安場俊郎方
 電話 096-357-1236
 発行者 松本 莞爾
 印刷 ベストプロセス

目 次

1. 新支部長就任のごあいさつ……………松本 莞爾	第3回勤労青少年登山教室報告……………田北 芳博
2. 平成26年度通常総会報告……………事務局	4 秋津山の会帯同登山報告……………松本 莞爾
3. 会務報告……………事務局	5 JACホームページ紹介……………事務局
第1回森林保全巡視登山報告……………廣永 俊一	6 事業案内……………事務局
平成26年度山野草鑑賞登山報告……………山本 直	7 おしらせ……………事務局

第7代目熊本支部長就任のご挨拶

熊本支部長 松本 莞爾

平成26年4月26日に開催された熊本支部通常総会において、工藤文昭前支部長の後を引き継いで支部長をお引き受けいたしました。

設立50周年を過ぎ、第1代目の北田正三氏、第2代目の三谷孝一氏、3代目西澤健一氏、4代目奥野正玄氏、5代目本田誠也氏、そして6代目の工藤文昭氏と歴代の著名な先輩方のあと7代目就任は支部の運営とその重大さ、そして責任の重さに、身の引き締まる思いです。

諸先輩がこれまで築いてこられた長い歴史と伝統を誇っている当支部の体面を汚すことなく、また近年、日本山岳会の活動が各支部の活性化と共に良き方向へと発展しつつある中で、公益社団法人日本山岳会熊本支部長として微力ながらも、楽しい支部活動と会運営や社会に還元できる会の活動に邁進する所存です。

幸いにも、山歴豊かな素晴らしい支部の仲間をはじめ、本田永年会員や工藤前支部長を顧問に迎え、そのお力添えとご指導を受けることが何よりの支えとなっております。今後もご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平均年齢69歳の熊本支部ではありますが、およそ月1回の山行には多数の参加者が楽しく山をエンジョイされている中で、公益社団法人としての

主旨をよく理解され一般の登山愛好家を対象とした「登山教室」や研修会にご協力して頂く会員会友の皆さんに、大変心強いものがあります。

熊本支部は2017年(平成29年)には創立60周年を迎えます。すなわち後3年後には、創立60周年の記念行事も控え、盛大な式典でも考えております。営々と築き上げられてきた熊本支部の歴史と今後の発展の為、何か記念に残るものを役員一同企画案を検討しておりますが、現在38名の本部会員と32名の支部会友の皆さんに、まずは新規の会員の確保と、充実した会運営を目指しております。過去には記念事業として支部会員による「海外遠征」や「県境の山調査」などを行ってきましたが、60周年にはもっと身近な山で支部会員全員で実施できることを目指しています

また全国に日本山岳会の仲間がいることも心強いものですが、まずは支部の仲間たちが山を媒体にフレンドリーな雰囲気の中、山を愛し仲間を大事にし、自然の素晴らしさに心を謳歌し登山ライフを人生の糧にしようと思います。

28年からは8月11日が「山の日」に制定されて第1回目の記念日となります。この新しいスタートともに会員の皆様のご協力の下、一層の支部活性化を目指すことを就任のご挨拶と致します。

平成26年度 日本山岳会熊本支部通常総会報告

平成26年4月26日、日本山岳会熊本支部は熊本交通センターホテルにおいて平成26年度の支部総会を開催した。今年度は2年前公益社団法人に移行してから初めての役員改選があり、14年間熊本支部の活動に貢献された、工藤文昭支部長の退任が本人の希望により了解し、その後任に事務局長だった松本莞爾氏を次期支部長として決定し、5月の本部理事会において承認された。

期日 平成26年4月20日(日)

時間 総会10時より食事会12時00分より

場所 熊本交通センターホテル

総会次第

1. 開会の言葉
2. 支部長挨拶
3. 議長選出
4. 議案審議

第1号議案 平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度収支決算報告

第3号議案 平成25年度会計監査報告

第4号議案 平成26年度事業計画(案)

第5号議案 平成26年度収支予算(案)

第6号議案 平成26年度役員改選

第1号議案 平成25年度事業報告

事業

4月21日平成25年度支部総会 5名
 4月27日第13回森林保全巡視登山「高岳」 9名
 5月12日月例登山 阿蘇往生岳・杵島岳 15名
 6月23日第10回登山教室「韓国岳」 47名
 7月7日第1回熊本市森づくりボランティア 6名
 7月21日第2回勤労青少年登山教室 26名
 7月28日第2回勤労青少年登山教室小岱山 16名
 8月4日 第9回登山研修会菊池溪谷 10名
 8月25日第2回SOアスリート登山教室 雨天
 8月31日夏期例会(ビールパーティー) 29名
 9月1日第2回熊本市森づくり 11名
 9月22日第11回登山教室 地藏峠～俵山 30名
 9月28日～29日 平成25年度九州5支部集会
 9月28日～29日 第6回脊梁山脈トレイルラン
 10月11日～13日日山協「指導者研修会」 3名
 11月2日～3日第27回宮崎ウエストン祭 10名
 11月14日第14回森林保全巡視登山高岳 12名
 11月17日第3回熊本市森づくり事業 7名
 12月15日海外登山報告会 27名
 12月7日～24日 山の写真展 約500名
 1月18日 新年晩餐会 33名
 1月27日全国事務局長会議 2名
 2月2日第10回登山研修会九重山 33名

2月15日～16日宮崎との交流登山 18名
 3月1日第4回熊本市森づくり事業 8名
 3月16日干支の山登山「馬見山」 30名
 支部報発刊 29号・30号・31号(4/1発刊予定)
 毎月第2火曜日熊本支部役員会「わくわくランド」
 毎月第2火曜日 13回
 3月27日平成26年度会計監査
 その他、日本山岳会発行「三百名山」編さん活動。
 (阿蘇・国見岳・市房) 3名
 日本山岳会主管「親子登山」HP原稿編さん

第2号議案 平成25年度収支決算報告

収入の部

費目	予算	決算	差異
前期繰越金	386,895	386,895	0
支部助成金	107,500	107,500	0
支部費	216,000	213,000	▲3,000
公益事業費	700,000	586,200	▲113,800
共益事業費	400,000	433,000	33,000
雑収入	80	65,281	65,201
合計 A	1,810,475	1,791,876	▲18,599

支出の部

費目	予算	決算	差異
通信費	85,000	81,120	3,880
振込手数料	4,500	4,240	260
印刷費	130,000	103,800	26,200
事務局雑費	10,000	41,948	▲31,948
会議費	5,000	7,250	▲2,250
事務消耗品費	60,000	56,497	3,503
公益事業費	700,000	545,895	154,105
共益事業費	400,000	417,000	▲17,000
交際費	6,000	11,676	▲5,676
三百名山経費	30,000	30,000	0
予備費	60,000	123,062	▲63,062
当期合計 B	1,490,500	1,422,488	68,012
次年度繰越金	319,975	369,388	▲49,413
合計	1,810,475	1,791,876	18,599

第4号議案 平成26年度事業計画(案)

4月20日平成26年度支部総会
 4月26日(土) 森林保全巡視登山「目丸山」
 5月18日第12回登山教室「黒岩山」.
 6月 8日月例登山「山野草を見る会」
 6月中旬平成26年度第1回JAC通常総会
 7月6日第1回森づくり事業(年4回開催)
 7月12日(土) 第3回勤労青少年登山教室
 7月27日(日) 第3回勤労青少年登山教室実技
 8月9日～10日 第11回登山研修会
 8月24日第3回SOアスリート支援登山
 8月30日夏期例会(ビールパーティー)
 9月 7日第13回登山教室「南外輪山」
 9月27日～29日 第7回脊梁山脈トレイルラン
 9月下旬日本山岳会全国支部事務局会議
 10月4日第16回森林保全巡視登山(高岳)
 11月1日～2日 宮崎ウエスタン祭
 12月14日海外登山報告会
 12月6日～21日 山の写真展
 12月6日日本山岳会支部長会議
 1月17日(土) 新年晩餐会
 2月 1日 第12回登山研修会(雪山研修)
 3月 1日 干支の山登山(山:未定)
 支部報発刊 年3回予定(32号33号34)
 支部通信 随時発行
 毎月第1火曜日熊本支部役員会「市公民館」

平成26年度会計予算書

収入の部

費目	25年度決算	26年度予算	差異
前期繰越金	386,895	369,388	▲17,507
支部助成金	107,500	90,000	▲17,500
支部費	213,000	192,000	▲21,000
公益事業費	586,200	600,000	13,800
共益事業費	433,000	400,000	▲33,000
雑収入	65,281	100	▲651,81
合計	1,791,876	1,651,488	▲140,388

支出の部

費目	25年度決算	予算	差異
通信費	81,120	80,000	1,120
振込手数料	4,240	4,500	-260
印刷費	100,810	110,000	-9,190
事務局雑費	44,938	40,000	4,938
会議費	7,250	7,500	-250
事務消耗品費	56,497	60,000	-3,503
公益事業費	545,895	500,000	45,895
共益事業費	417,000	400,000	17,000
交際費	11,676	20,000	-8324
三百名山経費	30,000	100,000	-70,000
予備費	123,062	60,000	63,062
当期合計 B	1,422,488	1,382,000	40,488
次年度繰越金	369,388	169,488	199,900
合計	1,791,876	1551488	280,876

平成26年度(平成26年～27年)

(社)日本山岳会熊本支部 役員名簿

新役職名 会員番号 氏名

支部長(第7代) 8411 松本 莞爾 新任
 常任委員「事務局長」13889 安場 俊郎 新任

支部役員

委員(自然保護委員) 10080 廣永 峻一 留任
 委員(会計担当) 14305 中林 暉幸 留任
 委員(事業担当) 13845 加藤 明 留任
 委員(事業担当) 13852 石井 文雄 留任
 委員(事業担当) 14459 田北 芳博 留任
 委員(事業担当) 14462 宇都宮信夫 新任
 委員(事業担当) 15435 山本 直 新任
 会計監査 14675 千々岩泰子 会計監査
 会計監査 14310 池田 清志 会計監査

退任者氏名

退任(第6代支部長) 8190 工藤文昭支部長
 支部長歴 平成12年～平成25年 14年
 退任 10232 加藤稜子委員
 委員歴 平成22年～平成25年 4年

会務報告 (4月～8月)

☆ 平成26年度(社)日本山岳会熊本支部 通常総会報告

平成26年度(社)日本山岳会熊本支部の定期総会は、平成26年4月20日(日)午前10時より、熊本市の交通センターホテルで開催された。今年度は山岳会が公益社団法人に認定されてから、3年目を迎えその成果等が試される総会でもある。

☆ 平成26年度第1回森林保全巡視登山報告

期 日 平成26年4月26日(土)午前8時
佐俣の湯集合(2名は内大臣橋)

場 所 目丸山

参加者 石井文雄・中林暉幸・田北芳博・宇都宮信夫・桑原リカ・松島義幸・金山春男・山本直・三宅厚雄・廣永峻一・永谷誠一・加藤明

経 費 300円(移動車両ガソリン代)

概 要 車3台(三宅車、中林車、廣永車)に分乗して目丸山登山口へ向かう、登山口入口は伐採道造成のため、大きく迂回して登山路が付けられてロープで誘導されていた。登山道周辺のゴミはなかったが、カタクリを保護するためのロープが倒木などで破損している所が多く見られた。早く保護策の改修を進めるべきだ

コースタイム 佐俣の湯(8:10)⇒目丸山登山口(9:20)～目丸山山頂(10:30) 昼食(12:15)～馬子岳(12:30)～登山口(13:30)⇒佐俣の湯(14:30)

☆ 「九重連山 泉水山・黒岩山」縦走登山報告 (担当 中林)

期 日 平成26年5月18日(日) 市民会館前・大津駐車場集合

山行地 くじゅう連山 「泉水山・黒岩山」

行 程 崇城大市民ホール(8:10)⇒大津駐車場(8:30)⇒長者原(9:32) 出発(9:47)～下泉水山(11:15)～上泉水山(12:00) 昼食(12:30)～黒岩山(13:40)～牧の戸峠(14:35)⇒大津駐車場(16:05)⇒市民会館(17:10)

参加者 松本莞爾・石井文雄・安場俊郎・中林暉幸・田北芳博・千々岩泰子・山本直・渡辺眺美・三宅厚雄・三宅久子・正木勝・杉山八重子・横野俊勝・中嶋信夫・北原国明・北原ひろ子・巢山ノリ子・山下智子・富樫康子・安場幸代・林田幸子・清田隆司

概 要 第12回登山教室は5月18日に実施、今回はくじゅう連山の西に位置する「泉水山」「黒岩山」を飯田高原からの縦走で、下泉水山、上泉水山、黒岩山、牧ノ戸峠のコースで実施しました。朝方、霞に煙っていた眺めも次第に晴れあがってきて、三俣山、星生山、涌蓋山など、くじゅう連山はもとより、由布岳、阿蘇山などが遠望でき、期待通りの眺望を楽しめ、また気になっていた天候も、全く雨具の心配をすることな

く、暑くもなく寒くもなく、新緑鮮やかな中を自然の息吹を感じながら、静かな九重の一日を十分に堪能することが出来ました。また、草花の種類も多く、ハルリンドウ、キスマレ、イワカガミ、マイヅルソウ、クサボケなど、そしてミヤマキリシマもそのはしりを伺わせ、すでに終わっているかも気をもんでいたシャクナゲの花も黒岩山頂で見事に待っていてくれたことに皆感動といった面持ちであり、最後に今回のクライマックスがあったように感じました。今回アクシデントもありました。出発して間もなく靴底が剥がれたメンバーがいて、応急処置を施して再出発をしたら、やがて今度はメガネを落としてストップ、しばらく探したが見つからない。これらはある意味、今後の教訓としてよい教材を提供してくれたものと思います。その後はトラブルもなく、みんな元気で歩き、ほぼ予定の時間には下山、帰還することが出来ました。

☆ 平成26年度 山野草(おおやまれんげ) 観察登山報告 (担当 山本)

期 日 平成26年6月8日(日) 市民会館・大津駐車場 7時30分集合

山行地 九重連山 「獺師岳」

日 程 崇城大市民ホール(8:10)⇒大津駐車場(8:30)⇒三愛レストラン(トイレ)⇒スキー場～スキー場上部～散策路～獺師岳山頂(12:00) 昼食(12:30)～牧の戸分岐～スキー場(13:50)⇒筋湯温泉(入浴)⇒大津駐車場⇒市民会館

参加者 田北芳博・加藤明・石井文雄・安場俊郎・山本直・宇都宮信夫・中林暉幸・三宅厚雄・三宅久子・松本莞爾・池田清志・金山春男・内布陽子・植木隆俊・植木啓子・井上恵美子・矢立誠一・津田照美・税所順子・島中和子・永井しず子・竹田アヤ子・坂村道雄・上妻忠・工藤文昭・巢山のり子・宮本博子・佐藤正樹・松川千鶴子・松川明・矢立純子

概 要 山野草の観察登山は相変わらず人気の登山である。一昨年より10日ほど早く実施したため、下見の時は目指す「おおやまれんげ」はまだつぼみの状態で開花が心配されたが、当日でもまだ満開とまではいかなかったが、ほんの数輪、白い貴婦人はその姿を見せてくれた。雲行きが怪しくなってきた、ゆっくりとした観察は出来なかったが、ギンリョウソウやドウダンツツジなど目を楽しませてくれた。昼食を摂り終えたころからポツリと雨が落ちだし、早めの下山を開始する。スキー場に出てきたところでどしゃ降りになり、全員雨具をつけたものの全身ずぶ濡れとなってしまった。バスで筋湯へ移動し、温泉で、汗を流して帰路についた。

第3回勤労青少年登山教室

「始めよう山登り」

- 1 期日【座学講座】平成26年7月12日(土)
【実技講座】平成26年7月27日(日)
- 2 場所【座学講座】熊本市勤労青少年ホーム
【実技講座】阿蘇外輪山「鞍岳」(1119m)
- 3 参加者 工藤文昭・松本莞爾・石井文雄・加藤明・
安場俊郎・中林暉幸・田北芳博・宇都宮信夫
千々岩泰子・坂西直明・松本博美・山本直・
金山春男・野田一郎・中田良友・佐藤婦人
一般参加者22名 合計46名

4 概要 座学は例年通り熊本市の勤労青少年ホームの講義室であり、30数名の参加者が集まり、定刻通り、支部長の挨拶で始まり講座は安場会員の「山の楽しみ方」と題して、本年5月に登山した「燕岳」の山行をスライドを交えて説明と山の楽しみ方を講義。続いて工藤顧問の「山のリスクとマネージメント」と題して、山でのトラブルや遭難事故等の実例を挙げ、その対策とトラブルに巻き込まれない方法や山への心構え、準備等をパワーポイントを交えて講習を実施。受講生は高校生をはじめ若い女性も多く、大変熱心に聞いておられメモを取る人もいました。

2週間、間を置き実技講座は7月27日(日)に開催され、午前9時に「四季の里」キャンプ場に集合する。座学のみの方を除き、新しく実技のみを希望された方も含めて37名の参加者であった。集合の頃から雲行きが怪しくなり、ポツリポツリと雨模様になってきた。それでも予定の参加者は時間どおりに集まり、支部長の挨拶からコースの説明があり、準備体操を田北担当からのリードで体をほぐした。9時20分四季の里を出発するが、雨が降り出し、全員雨具を装着、雨の出発となった。森林コースの入り口では本降りとなり、空谷の登路には雨水の川が出来るようになった。其れでもみんな元気で登山を開始し、雨の登山となった。およそ40分ほど登ったところで、雷が発生するようになり、雨脚もかなり強くなってきた。登山教

室という事で初心者も多く、雨に対する装備も完全でない人もいたので田北担当は、「登山の中止」を決断し、全員下山をすることになった。このことは大変勇気のいることだが大事な決定だと他のリーダーも同意した。ずぶ濡れになった参加者の中には着替えの用意をしていない者もいたので、四季の里において入浴と昼食を摂ることになった。四季の里の大広間を借り、ここで座学講習会を再度実施、工藤顧問の講義を受け、本日の勇氣ある撤退も登山技術の一つであることを確認する。



秋津山の会帯同（講師）山行報告書

【帯同山行の経緯】

先の役員会で承認を得た「秋津山の会」の講師派遣について、第1回目の山行が実施されました。

秋津山の会においては、10数年前に秋津公民館の主催事業で「登山教室」が開催され、終了した受講者がその後の活動として自主的な「秋津山の会」を結成し、当時の講師が指導をしながらの活動を続けていた。活動は指導者の計画の元いわゆる「手取り足取り」の状態クラブ活動をしたものの、その指導者が活動を停止したため、会の活動に不安があり会員の要望もあり、他に指導者（講師）の派遣依頼をすることになったとのこと。

日本山岳会へのアプローチは知人を通じて4月の初め依頼があったもので、総会時の役員会でお手伝いをするを前提に、もっと詳しく話を聞こうという事で、5月9日の役員会に秋津山の会の会長、副会長3名の出席をお願いし、詳しく説明を聞き、この件に関し受諾をするに至った。

日本山岳会では帯同講師として担当を決定し、秋津山の会の山行（下見を含む）にお手伝いすることになった。

◎ 第1回帯同山行 「九重山系・三俣山」

担当 松本莞爾・山本直
(下見担当代理 安場俊郎)

期日 平成26年6月12日(木)

山行場所 九重山系 三俣山

集合 午前6時 (秋津公民館) バス移動

参加者 秋津山の会会員 22名

秋津山の会 統括 久末捷敏 CL 岡本道夫
SL 伊藤清子 SL 牛島幸治

JAC 松本莞爾・山本直・(調査 安場俊郎)

行程記録 秋津公民館出発(6:00)⇒立野ヒライ
(弁当購入)⇒三愛レストラン(トイレ休憩)⇒
大曲り(8:35)～碎石道路～硫黄谷～
すがもり越(10:10)～三俣西峰(10:35)
～三俣本峰(11:05)～三俣山南峰
(11:40)昼食(12:00)～IV峰～すが
もり越(13:40)～長者原
(15:10)着 やまなみ牧場温泉にて入
浴(16:20)⇒秋津公民館(18:30)
着 解散

コース記録 6月12日午前6時前に全員が集合しバスの中で会長挨拶と日本山岳会の2名の紹介があった。松本が初めてのお手伝いについて挨拶と自己紹介を行い。マイクロバスに乗って九重へ向け出発する。途中三愛レストランにてトイレ休憩を取り、飯田高原入口の通称「大曲」で下車。準備体操のあと目的地へ出発する。24名の参加者であるが、久末会長が全体の指揮をし、3名のサブリーダーのものと岡本リーダーが先頭を歩き、2名のサブリーダーが中間に位置し、久末リーダーは最後尾を歩き全体を

把握する。出発や、休憩の連絡は呼び笛を使用し全体に行き届くよう配慮されている。飯田高原からのびた碎石道路に出たところで「現在地確認」の実技を行う。参加者は熱心に聞き入り、各々持参のコンパスで地図上に記録をとる。ちょうどそのころからガスがかかり始め、実習には好場面になった。

計画書に記載してある予定時刻とほぼ同時刻の行動で、下見の時の記録が大変適切であったことが伺える。天候は曇りながら爽やかな風が吹き、最適な登山である。予定通り午前10時にすがもり越しに到着し、今日のメインである三俣山の急坂を登り始めるが、みんな快調な体力と行動である。途中ミヤマキリシマの群生を見るが、殆どが尺取虫に似た虫に食い荒らされ、可憐な花は見る影もなかった。約30分で三俣西峰に到着、すぐ本峰への登りにかかり、ここも30分で登頂することが出来た。計画書の予定時間どおりである。三俣山には4つの大きなピークがあるがほぼ中央に位置するのが1744mの三俣本峰で北側にある北峰、西にある西峰そして南峰

(1743m)と頂上には標記してあるが、本峰から見ると東峰が正確な表示ではないかと思う。そしてガイドブックにはこの東峰を南峰と記している物が多いが、中には東の峰と表記している本もある。またIV峰としてあるのが本来、南峰ではないかと疑問に思った。昼食をこの南峰？(東峰)で坊ヶつるの湿原を見ながら摂り、ピンクに色づく北大船と平治岳に咲くミヤマキリシマを眺めてひと時を過ごす。

予定の時刻に下山を始めるが、雲行きが怪しくなり、雨具を付けることになった。スガモリ越しまで下ると雨は上がり、火山灰の登山道を泥まみれになりながら、長者原へ下る。

予定より20分ほど遅れ、長者原に着き、整理体操をして登山は終了した。尚、経費についてはボランティア活動としての帯同山行であるためバス代は山の会が負担、その他は参加担当者負担で山の会からの謝礼、報奨金は辞退しています(松本記)

日本山岳会編『新版日本三百名山』の 特別割引販売について

昨年より各支部が担当し、『新日本三百名山』ガイドブックが7月に刊行しました。熊本支部からは工藤顧問を中心に廣永会員、中林会員、田北会員が調査執筆し原稿を提供しています。この三百名山は上中下の3巻からなり九州の山は下巻に掲載されています。1巻2300円×3巻ですが、著者特別価格で1冊1610円(7掛け)で購入できることになりました。ご希望の方は事務局までお申し込みください。

日本山岳会ホームページの紹介

日本山岳会ではホームページを開設しています。会の紹介や事業の案内、活動案内、山のお知らせ、山に関する資料の提供、会員のページ等が掲載されています。また支部の活動についても支部サイトを通してリンクしています。

今回は「親子で楽しむ山登り」のページで熊本支部が提供している「鞍岳」と「飯田山」そして長崎県の「郡岳」の案内原稿をHPに先立ち紹介します。なお、日本山岳会へのアクセスは www.jac.or.jp で開くことができます。是非ご覧ください

【鞍岳】

鞍岳(1118m)は全国遊歩百選に選ばれている山。阿蘇外輪山の西端に位置し、頂上は男岳と女岳の双児峰で山麓の菊池市や大津町から眺めると馬の鞍のように見えるところが山名の由来です。北東の尾根をたどるとツームシ山(1064m)があり、この一帯は「熊本ふるさとの森林(もり)鞍岳」として県が指定、なだらかな自然観察路周辺には高山植物、野鳥類も多く、ファミリー登山向けのオススメコースです。下山後は、山麓の「四季の里旭志」温泉で疲れを癒すのも最高ですね。



馬頭観音は牛馬の護り神

少し回り道になりますが、鞍岳山頂から東側に下るとパノラマコースの分岐があります。このコースに入り山頂の北側をトラバース気味に200m歩けば馬頭観音です。山麓の御願所(ごがんぜ)にある円満寺の奥ノ院で、牛馬の護り神として昔は3月18日の大祭の日は、農民の参詣者でにぎわいました。現在は農耕用の牛馬がトラクターにかわりましたが、今も地域の人々のお参りは続いています。

熊本 飯田山(431m)

飯田山(431m)は熊本平野の北東部に位置し、お椀を伏せたようなきれいな形の山で、西の金峰山と対峙しています。昔話で「西の金峰山と背比べしようという事になり、金峰山と飯田山に桶を架け、有明海の水を流したそうです。金峰山(665m)が高かった為、水は飯田山へ流れ、そのこぼれた水が頂上直下の池と熊本市内にある江津湖になったという。それ以来、高さで負けた飯田山は、『もう、高さの事はいいださん』といったような』の言い伝えがあります。

登山口近くには、野鳥の森があり、夏はキャンプなどが楽しめます。また、山腹には平安時代末期に創建された「天台宗 常楽寺」があります。この参道には麓から60間(約110m)間隔で石仏が安置されており、一丁から十四丁までの里程となっています。

山頂まで車道があるが、一般車は通行不可。常楽寺までは林道を利用していくことができ、お寺の前に駐車場とトイレがあります。山頂は広い草原になっており、見晴らしも良く熊本平野を一望できます。



長崎 郡岳(826m)長崎県大村市近郊の山郡岳は多良山系の最西端に位置し、大村市の県道6号線沿いのすこし高台にある「野岳湖公園」からの眺めはなだらかな裾野を広げた秀麗な山です。この野岳湖は人工湖ではあるが周囲がよく整備され、夏はキャンプで賑わっています。ダムの南側には「裏見の滝」があり、この滝は裏側を見ることが出来、ちょっとした渓谷になっている。この周辺は「裏見の滝自然花園」として整備されておりシャクナゲ5300本が植えられている。郡岳へは3つのルートがあり、一つは経ヶ岳から遠目山を経て郡岳までの縦走路と一般的な南登山コース、そして西登山ルートがある。初心者や親子連れはよく整備された南登山口コースがお勧めです。

山頂からの眺めは西側の大村湾を一望でき、その先には大村半島を望むことが出来る。



支部の9月～10月までの事業

☆ 平成26年度第1回熊本市水資源

「水源の森づくりボランティア養成講座」

1. 期日 9月7日(日) (担当 田北芳博)
2. 場所 久木野・熊本市造成地
(集合 崇城大市民ホール)

☆ 第13回登山教室 阿蘇南外輪

(一般募集) (担当 加藤 明)

1. 期日 9月14日(日) 小雨実施
2. 集合 崇城大市民ホール前 7時30分
3. 場所 南阿蘇外輪山「清水峠」～「駒返峠」
4. 参加費 3500円(保険加入者は2700円)
5. 参加申し込み 8月30日(土)まで

☆ 第6回九州脊梁山脈トレイルラン

参加協力. (担当 事務局)

1. 期日 9月27日(土)～28日(日)
2. 場所 宮崎県 五ヶ瀬ハイランドスキー場
「小川岳」～「向坂山」～「三方山」
3. 集合 山都町馬見原(旧蘇陽町)派出所駐車場
スキー場までは乗り合わせて移動
4. 参加費 無料(主催者より交通費・食事費が支給されます)
5. その他 寝袋・食器を持参して下さい
締切 8月末日 事務局まで

☆ 第2回森林保全巡視登山(清掃)

(担当 廣永)

- 1 期日 10月4日(土) 大津駐車場集合
- 2 場所 阿蘇「高岳」
- 3 参加費 交通費 500円程度

☆ 第11回登山研修会「沢登り」

8月に予定指定沢登りですが、台風11号の為に下記に延期になりました

- 1 期日 10月11日～12日
- 2 場所 祖母山系「奥岳溪谷」
- 3 その他は8月の計画通り

☆ 第28回宮崎ウェストン祭(担当事務局)

- 1 期日 11月1日～2日
- 2 場所 宮崎県高千穂市 五ヶ所
- 3 参加費 交通費+宿泊+食事費 3000円程度

訃報

日本山岳会熊本支部の創立時の一員として熊本支部設立に尽力された「菅隆雄」会員(4439)がさる6月15日にご逝去されました。84歳

◎ 新入会員紹介

齊藤 弘毅 (15586) 会友からの移行
佐藤 正樹 (15608) 新規加入

JACからのお知らせ

昨年度の熊本支部の新入会員は松本大智会員、松本博美会員、山本直会員の3名でしたが、昨年度から新入会員の報奨金(支部への還付金)が一人当たり4000円を支部へ還付されるようになりました。今後このように会員が増えることにより、JACからの還付が滞設されたことにより、会員の加入に利点が出来ましたので、さらなる新入会員の獲得が大事となりました。

今年度の新入会員は会友だった齊藤弘毅さんが7月付で本会員(15586)になりました。また新入会員としてNo15608 佐藤正樹さんが入会されました。会友皆さんの会員への移行と新入会員の獲得を積極的に推薦してください。

JACホームページについて

日本山岳会ではホームページを開発していますが、熊本支部の内容についても支部サイトがありますのでご覧ください。

尚、ページの中に親子で楽しむ山登りを開きますと熊本支部が提供している昨年政策の「鞍岳」今年度掲載予定の「飯田山」そして長崎県の「郡岳」が掲載されます(9月以降)是非ご覧ください。

また同じく「山の学校」のサイトには先日実施した「勤労青少年登山教室」の報告を載せるこ

編集後記

昨今、登山人口は増加の兆しがあるようで、特に山ギャルといった若い人の愛好者が目立ちます。しかし昔のように登山教室等の事業があまりありません。また、山岳会に入らないグループが多いようです。山の基本や知識は山の店で聞いているようです。何とかきちんとした習得方法があればと考えます。支部報もそんな悩みの一助になればと皆さんの投稿を期待しています。